

やまもり通信 vol.78

今年も暑い暑〜い夏がやってきました。
プールや海もいいけれど、熱中症には気をつけましょう！



【加子母の風景】加子母のトマトおいしいよ！ 加子母の国道257号沿いに新しい看板が登場！この子を探してね！

こちら 彩都やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

【彩都やまもり 8・9月 彩輝館ギャラリー展示情報】

大阪樟蔭女子大学3年生書展「染めの書」を紹介します。

【期間】令和4年8月3日(水)～8月10日(水)

毎年恒例となりました大阪樟蔭女子大学国文学科書道コース3年生の皆様による「臈縑(ろうけつ)の書」の作品展です。柿渋と臈を使って染めた背景に一文字の漢字。模様と漢字が織りなす渾身の作品をぜひご覧ください。



「岐阜の絶景に癒される 滝スポット」を紹介します。

【期間】令和4年8月12日(金)～10月3日(月)

自然豊かな岐阜県には、名所となる滝がたくさんあります。絶景が見られる圧巻の滝やパワースポットとなるような滝までバリエーションも豊富です。

滝はマイナスイオンたっぷりです。癒し効果も抜群！

四季折々の景色が楽しめる岐阜の滝スポット。まだまだ暑い夏の避暑地として、また秋の紅葉シーズンには是非訪れてみてください。



布引滝 (高山市)

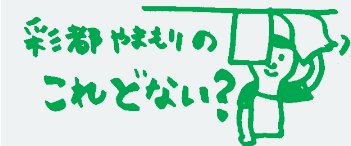


【8・9月イベント情報】 恒例の「やまもり市」を開催します。

岐阜名物の朴葉ずしや加子母トマト、大福など、スタッフいちおし、岐阜の特産品を数量限定で販売します。1日限り、売り切れごめんです。

【日時】令和4年9月4日(日)9時半～15時頃 ※売り切れ次第終了

【場所】彩都やまもり敷地内



胞山完熟黒にんにく

岐阜県恵那市の自然に恵みをたっぷり受け、有機栽培で育てたにんにくから作られた(有)東野さんの「黒にんにく」。にんにくの栽培から熟成・加工まで自社で手掛けられているので身体にも安心・安全です。甘酸っぱくドライフルーツみたいな食感でにんにく特有の臭みもほとんどないので、とても食べやすいです。お試しサイズからお徳用サイズまであり、冷凍庫で保存も可能。便通が良くなる、血行が良くなる、疲れがとれるなどの効果も期待できるそうです。この時期夏バテ解消にも一度試してみてくださいはいかがですか？



【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、
彩都やまもりHP
(<https://yamamori.site>) や
facebook でご確認ください。



やまもりHP



やまもりfacebook

彩都やまもり ひとこと日記

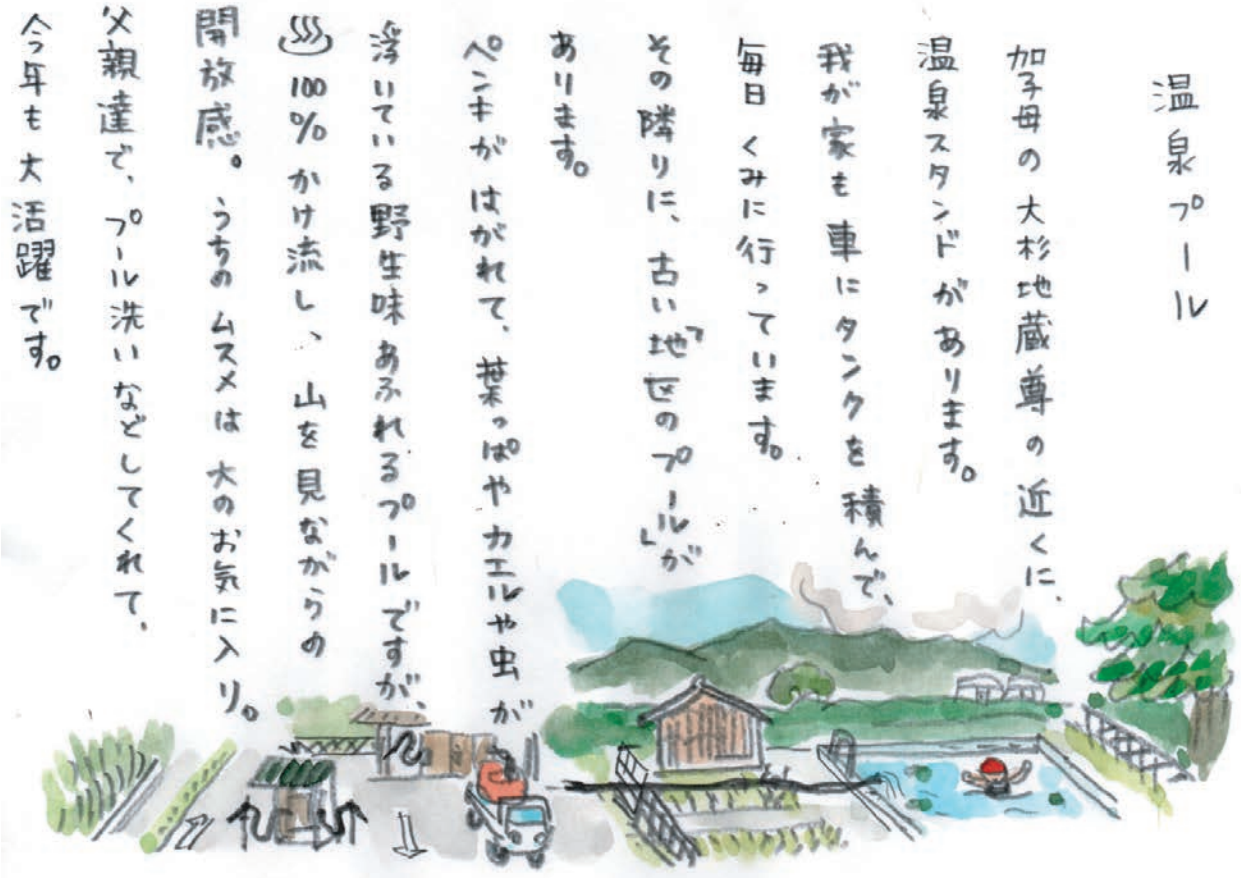


「やまもり市」に大工さん登場、かんな削り体験実施!!

7月3日(日)、3カ月ぶりに彩都やまもり敷地内で「やまもり市」を開催しました!

この日は台風が近づいていたこともあり、朝からあいにくの雨模様ではありましたが、朝から産直住宅のモデルハウスを建てた大工さんが来てくれて、ギャラリー内で何やら準備。あっという間に作業台を組み立てて、ギャラリーの一部に「かんな削り体験」スペースが出来上がりました。「東濃ひのき」の角材、大工さんの削るかんなくずの薄さ・・・これには来場のお客様も驚いた様子。気さくな大工さんと話をしながら子どもたちはもちろん、大人の方たちも大工さん愛用の道具を使わせてもらってかんな削り体験を楽しんでいました。削ったばかりのひのきのかんなくずはとても香りがよく持ち帰る人も。またかんな削り体験から「木の家」に興味を持ち、併設のモデルハウスを見学する人もいました。これからも不定期ではありますが、「やまもり市」に合わせて大工さんが来てくれるかも。今度はいつ来てくれるか、楽しみですね。

温泉プール



本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://tebakko.jp>

ふるさと 岐阜からまぶるがさ



中村 宙樹さん

他府県から移住し岐阜に暮らす「人」に焦点をあわせた企画、今回は関西出身で下呂市に移住された中村宙樹（ひろき）さんのお話の後半です。（やまもり通信編集室・以下「や」）

「や」こんにちは！今回は下呂市で飲食店を開かれたとお聞きしましたが、カレー店にされた理由は何ですか？

中村) 自転車でのユーラシア大陸横断の旅から帰国した後、フランス料理店で働いていた時に、賄い料理でカレーを出したらプロの料理人である先輩方から「美味しい」と言われて自信がついたのがきっかけです。(笑) それにカレーならいろいろな食材を生かして作ることができると思いました。

「や」実際には？

中村) 「カレーは地球料理」を合言葉にデミグラス仕立てとフイヤーベース仕立てのカレーをはじめスパイスを効かせた世界のカレーを毎週8種類作り、そのうち3種類を選んでらってランチに出しています。使う野菜のほとんどは岐阜県産、お米は下呂と恵那市のものを使っています。

「や」お店でイベントもされていると聞きました。中村) はい、昔からお祭りが好きで(笑)人

が集まるのが好きなんです。以前のお店では酒造元の方をよんで利き酒会をしたりしていましたが、ここ数年はコロナの影響でほとんどできずにいます。

「や」今後の抱負をお聞かせください。

中村) 移住してまだ1年半、まだまだ駆け出しですがこの地に根を生やして家族と共に生きていきたいと思っています。もともと人と人がつながるのが好きなので、たとえば近所の方がご家庭の自慢料理を持ち寄り世代を超えて盛り上げられるような、そんな場所にここがなれたらいいなと思っています。遠くからおいでの際は旅をするような気持ちでいらしてください。(笑)



咖喱奔放 (かれーほんぼう)
 <営業日> 昼：水木金土、夜：金土
 電話：0576-20-4105 基本予約制 (お問い合わせください)
 住所：下呂市門和佐 459

※まめ＝東濃地方の方言「元氣」という意味

加子母の人 山守日記 12 第70回 喧嘩の仲裁

世間が物騒で気持ちが悪くさくさくしてしまっている頃です。まずは身近な人たちと平和に暮らしたいところですが、小さな誹りはちょこちょこあるもの。江戸時代の加子母でも夫婦喧嘩や親子喧嘩はあったようで、御山守内木彦七の『御山守御用井所持日記』にも、喧嘩の仲裁の記録が残っていました。



●夫婦喧嘩

彦七の家には、土間の奥に浴室がしつらえてあったので、近所に住む親類たちは、数日ごとに夜になると「もうい湯」にやってきました。お風呂に入って汗を流し、彦七やかたちと世間話するのが憩いのひと時だったようです。そういえば、もうい湯って最近聞きませんね。昭和までかしら。

さて、明和2年3月3日の夜、彦七の妹おつねと娘のおいしが、もうい湯に来て遊んでいると、おいしの姉のおいわもやって来ました。この日はひな祭り、女性たちが集まっておしゃべりに興じるのは毎年の慣わしだったので、誰も気に留めていませんでした。

そこに彦七の娘おそよが駆け込んできて「おいわちゃん、こつちに来てる？善六さん(おいわの夫)と喧嘩して出て行っちゃった。善六さんがめっちゃ怒っているから、お



おいわちゃん連れて帰って仲裁した方がいいよ！」あらら、おいわさん、プチャ出でしたか。そこで、かかがおいわを連れておそよと一緒に戻りましたが、またおそよがやってきて「善六さんの怒りが収まらないから、加勢に来て！」と頼んだので、善右衛門も行って、皆で善六を諭してなだめ、ようやく夫婦喧嘩が収まったようです。何で喧嘩してたんでしょうね。とにかく良かったよかったです。

●男同士親子喧嘩

夫婦喧嘩ばかりでなく、父と婿の喧嘩もありました。彦七と同世代で仲の良い近所の清十郎彦と婿の紋蔵。二人は普段から折り合いが悪く、酒が入るとすぐ口論。近所の男衆が4、5人で止めに入ってしまうくらいに、男衆が4、5人で止めに入ってしまうくらいに、喧嘩が始まると、女性や子どもは危ないので、かかが桑原へ避難のために連れてきて預かることもあったそうです。

彦七のところにはこつちした夫婦喧嘩や親子喧嘩の仲裁話が色々舞い込んできたようです。ご苦労様です。

参考文献：山村の人、家・つきあい―江戸時代の「かしも生活①」 太田尚宏著 徳川林政史研究所発行

関西発会活動けいじ板

●大阪県人会総会及び、大阪・京都・連合会合同の設立記念祝賀会を開催しました！

2022年度の「大阪岐阜県人会並びに関西岐阜県人連合会」の定時総会と延期されていた設立記念祝賀会が京都岐阜県人会との合同で6月9日(木)、ホテルモントレ大阪で開催されました。

総会では議案の「2021年度の事業報告」、「収支決算報告」、「2022年度の事業計画」の説明が徳田昭憲会長代行より行われ、全議案が全会一致で可決、承認されました。



事業計画のなかでは、「岐阜県人会インターナショナル第1回世界大会」と3年ぶりに計画している箕面市彩都やまもりでの「岐阜ふるさと祭り」、関西岐阜企業交流会改め「大阪岐阜県人会法人部会(ちい会)」について詳しい経緯説明がありました。

新型コロナ感染症の影響で2年延期となつた120周年を迎えた大阪県人会と10周年の関西県人連合会の設立記念祝賀会は、今年120周年を迎えた京都県人会との3団体合同の開催となりました。今回は記念誌発行のため、まず記念写真

撮影が行われ、開宴へ。開会挨拶の関西県人連合会の中島紀子会長、主催者代表挨拶の大阪県人会の寺岡龍彦会長とも「延期となっていた設立記念式典が多くの来賓、会員とともに開催されたことに感謝するとともに同時開催となった京都県人会、さらには神戸県人会とも連動を強化していきたい」との抱負を語られました。

河合孝憲岐阜県副知事の来賓代表挨拶に続き乾杯へ。ご発声は青山節児中津川市長にお願いしました。

今回のお楽しみ抽選会の景品は「ふるさと納税の返礼品」です。新型コロナウイルス対策で傷んでいる地方財政を少しでも応援できればとの思いからの企画です。

郡上市の日置敏明市長、中津川市の青山節児市長、飛騨市の都竹淳也市長、下呂市の山内登市長、美濃加茂市の藤井浩人市長、池田町の岡崎和夫町長、大野町の宇佐美晃三町長、高山市の西倉良介副市長からそれぞれ祝辞とともに創意工夫をされた自慢の返礼品が紹介されました。

そのほか特別賞として岐阜県知事賞、揖斐川町から「ぎふコーラ」の提供がありました。

中締めは高野文男神戸県人会会長、万歳三唱は徳田昭憲関西連合会会長代行が行い、閉会の挨拶は桂川工京都県人会会長で「都道府県対抗女子駅伝、郡上おどりin京都などふるさと岐阜の情報発信に今後とも頑張ります。」と締めくくられました。